エッジ端末での生成AI実行により、現場での迅速な意思決定の支援を行います

エッジAIプラットフォーム（生成AI対応）

背 景 – 技術課題

従来の生成AIはクラウドで運用されることが多く、機密データの送信やクラウド接続が必要です。そのため、データを組織外への送信することや接続できない場合にサービス提供が困難になる課題があります。

研 究 目 標 – 成果

センサデータや画像など複数のデータをエッジで分析することにより、現場でのリアルタイム意思決定を支援します。

技 術 ポ イ ン ト

01 要素技術

現場へのAI導入を簡易化するデバイスやアプリケーションのリモート管理・統合管理技術

02 市中技術差異点

グローバル拠点に対して、エッジ端末やアプリケーションからAIモデルまでフルスタックのエッジAIサービスを展開可能

利用シーン 製造業
交通・運輸

R&Dフェーズ ビジネス展開

【出展企業】
株式会社NTT DATA Inc

【問い合わせ先】
技術革新統括本部

【共同出展社/社外連携先】
–

【関連Link】
–